

16-82 工場管理者養成コース(第23期) カリキュラム

第1回 工場管理者の役割と工場管理の基本 I (17H)

月 日	時 間	テ ー マ	講 師	内 容	備 考
5/18 (水)	9:20~10:00	開講式、オリエンテーション	瀬戸校長	開講式の後、コースのねらい、カリキュラム解説、受講にあたっての注意事項等のオリエンテーションを行い、このコースを学ぶにあたっての目標を改めて明確化し、さらに生活面での注意事項を確認します。	受講ガイド等
	10:00~13:00	工場管理者の職務と役割	愛知工業大学 教授 野村 重信	企業における管理・監督者の位置づけ、その職務と役割について学ぶとともに、職場の労働安全衛生について必要な実務知識を学びます。	
	14:00~16:00	課題研究①	有限会社高垣経営技術 代表取締役 高垣 俊壽 5S経営研究所株式会社 代表取締役 山名 敏文 アワノ経営企画 代表 粟野 英明 前掲 野村 重信	受講者各自が自社工場の改善について、課題研究を行うことによって、実践能力を高めます。	
	16:30~17:30	受講目的の発表	瀬戸校職員	受講目的の発表、自治会発足等を行います。	
	18:00~19:30	受講者交流会		課題研究講師及び受講者全員で交流会を行います。	
	5/19 (木)	9:30~12:30	工場管理の考え方と 生産システムの基本	前掲 野村 重信	工場を取り巻く経営環境の変化を理解した上で、「工場とは」、「管理とは」を再確認し、工場管理者として必要となる基本知識を学びます。 また、製造システムと生産管理システムの関係、生産管理のねらいと仕組みを学ぶことによって、生産システムの基本的な体系を概観します。
13:30~16:30					
5/20 (金)	9:00~12:00	IEによる生産性向上の 進め方	前掲 山名 敏文	合理化のための諸技法のうち、特に生産管理の基本的な技法であるIE手法について、その体系と考え方・活用の仕方を講義と演習を通して学びます。 ・IEの基本的な考え方 ・方法研究 ・作業測定 ・運搬・レイアウト分析	
	13:00~16:00				

第2回 工場管理の基本Ⅱ(18H)

月 日	時 間	テ ー マ	講 師	内 容	備 考
6/15 (水)	9:20～ 9:30	オリエンテーション	瀬戸校職員		
	9:30～16:30	5Sの基本と生産性向上のための活用の仕方	前掲 山名 敏文	現場改善の第一歩である5Sについて、その意義や重要性を正しく理解するとともに、TPM 活動に発展させることができる実践的方法を学びます。	
6/16 (木)	9:30～12:30	現場改善机上演習 (グループ演習)	前掲 山名 敏文	これまで学んだIEや5Sの考え方を活用した机上演習により、知識と手法の整理を行うとともに、模擬的な小集団活動の進め方についても習得します。	
	13:30～16:30				
6/17 (金)	9:00～12:00	課題研究②	前掲 前掲 前掲 前掲	高垣 俊壽 山名 敏文 粟野 英明 野村 重信	受講者各自が自社工場の改善について、課題研究を行うことによって、実践能力を高めます。
	13:00～16:00				

第3回 原価意識の高揚とコストダウンの進め方(18H)

月 日	時 間	テ ー マ	講 師	内 容	備 考
7/27 (水)	9:20～ 9:30	オリエンテーション	瀬戸校職員		
	9:30～12:30 13:30～16:30	原価管理の体系と 進め方	株式会社MEマネジメントサービス 常務取締役 大塚 泰雄	原価管理の意義と体系及び原価把握方法について、以下の項目を学びます。 ・原価管理の体系 ・コスト構造の変化とコスト戦略 ・原価構の種類と把握方法 ・標準原価の考え方と手順 ・損益分岐点のとらえかた	
7/28 (木)	9:30～12:30 13:30～16:30	コストダウンの考え方・ 進め方	前掲 大塚 泰雄	原価発生のある方に応じた現場でのコストダウン活動の着眼点(主に製造原価の低減)、その展開の仕方について学びます。	
	9:00～12:00 13:00～16:00	課題研究③(現地講義) ※受入先の有無により 変更の可能性有り。	前掲 高垣 俊壽 前掲 山名 敏文 前掲 栗野 英明 前掲 野村 重信	受講者各自が自社工場の改善について、課題研究を行うことによって、実践能力を高めます。 【企業視察をとおして、課題研究の参考とします】	

第4回 品質向上のためのしくみづくり(18H)

月 日	時 間	テ ー マ	講 師	内 容	備 考
8/31 (水)	9:20～ 9:30	オリエンテーション	瀬戸校職員		
	9:30～12:30	品質管理の考え方と進め方	実践マネジメント研究所 代表 植條 英典	品質管理の意義と目的を理解するとともに、現場において効果的に実施する上での留意点を学びます。 また、全社的改善活動、品質保証の概要を踏まえ、作業標準の考え方と進め方についても学びます。	
	13:30～16:30				
9/1 (木)	9:30～12:30	統計的品質管理の進め方	前掲 植條 英典	統計的品質管理について、データの使用目的、QCデータの処理方法の考え方やいくつかの分析技法を習得し、その分析にあたっての留意点等を学びます。 また、習得した技法を活用し、QCストーリーの活用の仕方を学びます。	
	13:30～16:30				
	17:00～18:00	リラックスヨーガ	井坂ヨーガ研究所 代表 井坂 津矢子	ヨーガを体験して、心身をリフレッシュしていただきます。	
9/2 (金)	9:00～12:00	課題研究④	前掲 高垣 俊壽 前掲 山名 敏文 前掲 粟野 英明 前掲 野村 重信	受講者各自が自社工場の改善について、課題研究を行うことによって、実践能力を高めます。	
	13:00～16:00				

第5回 納期が守れる体質づくり(18H)

月 日	時 間	テ ー マ	講 師	内 容	備 考
9/28 (水)	9:20～ 9:30	オリエンテーション	瀬戸校職員		
	9:30～12:30	生産計画の立て方	早稲田大学 創造理工学部 教授 吉本 一穂	生産形態に応じた生産管理の方法について理解するとともに、生産計画を立案する上で必要となる以下の項目を学びます。 ・生産計画の種類と策定手順 ・生産計画を立てる一連のフローである需要予測、手順計画(工程設計を含む) ・工数計画と日程計画の考え方・進め方	
	13:30～16:30				
9/29 (木)	9:30～12:30	生産統制の進め方	前掲 吉本 一穂	計画に基づき生産活動を円滑に行うために必要な統制機能について、以下の項目を学びます。 ・作業手配 ・進捗管理 ・余力管理 ・現品管理 また、一方で資材及び外注の納期管理も含め、納期厳守のための具体的な管理のあり方及びネック工程の能力アップ、生産の小ロット化、段取作業の改善等の具体的なリードタイム短縮の方法を学びます。	
	13:30～16:30				
9/30 (金)	9:00～12:00	課題研究⑤	前掲 高垣 俊壽 前掲 山名 敏文 前掲 粟野 英明 前掲 野村 重信	受講者各自が自社工場の改善について、課題研究を行うことによって、実践能力を高めます。	
	13:00～16:00				

第6回 課題研究(改善案のまとめと発表、実行方法)(19H)

月 日	時 間	テ ー マ	講 師	内 容	備 考
10/19 (水)	9:20～ 9:30	オリエンテーション	瀬戸校職員		
	9:30～11:30	これからの製造業と マネジメントのあり方	名古屋大学大学院 経済学研究科 教授 山田 基成	製造業を取り巻く環境変化や今後の動向について理解するとともに、経営者の視点によるマネジメントのあり方について学びます。	
	11:30～12:30	成果を活かすマネジメントの 進め方	有限会社エムアンドティ・コンサル ティング 代表取締役 榊原 郁夫	ケーススタディを通じ、これまで学んできた工場管理の手法・考え方を改善活動に活かすポイントを習得します。	
	13:30～16:30				
10/20 (木)	9:30～12:30	課題研究⑥	前掲 高垣 俊壽 前掲 山名 敏文 前掲 粟野 英明 前掲 野村 重信	課題研究について報告書をまとめます。	
	13:30～16:30				
10/21 (金)	9:00～12:00	課題研究成果発表会		課題研究成果について発表を行い、講評を受けます。	
	13:00～17:00				
	17:10～17:20	終講式	瀬戸校長		